

第10章 緑地調査

10-1 調査方法

みどりの保全・創出に寄与する区域を緑地として、図 10-1 に示す分類に基づき整理した。緑地は、緑被率調査結果、航空写真及び東京都土地利用データ等に基づき整理を行った。

緑地の分類は、担保性の高いものから①都市施設とする緑地、②制度上安定した緑地、③社会通念上安定した緑地とした。区域が重複する場合は、①又は②を優先した。また、緑地としての要素を持ち合わせているが担保性がない、④その他の緑地を抽出した。

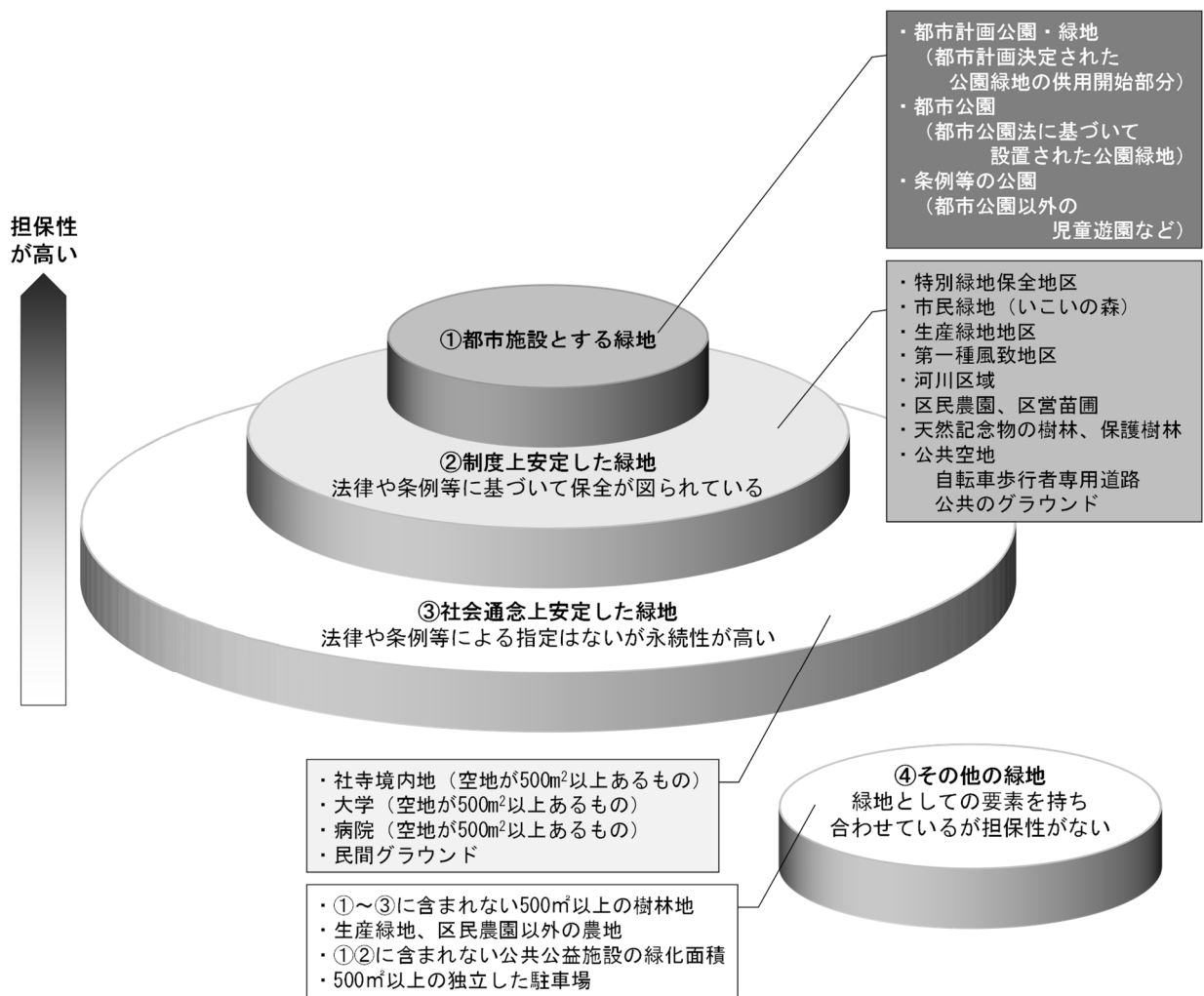


図 10-1 緑地の分類概念図

10-2 区全体の緑地状況

緑地の状況を表 10-1、図 10-2 に示す。緑地率は以下によって計算する。

$$\text{緑地率 (\%)} = \text{分類毎の緑地面積} \div \text{杉並区面積 (3,406ha)} \times 100$$

緑地の合計は、570.29ha であり、区全域の 16.74%であった。緑地の内訳を見ると、緑地としての要素を持ち合わせているが担保性がない「④その他の緑地」が 258.94ha で最も大きい。「④その他緑地」を①～③の安定した緑地に移行していくことが、みどりの保全に向けて、より緑地の担保を高めることにつながる。

表 10-1 緑地の状況

分類	種別	箇所数	面積 (ha)	面積計 (ha)	緑地率 (%)
①都市施設とする緑地	都市計画公園・緑地	81	104.96	130.59	3.83
	都市公園	210	19.25		
	児童遊園・遊び場	65	6.38		
②制度上安定した緑地	特別緑地保全地区 ※1	1	2.22	106.75	3.13
	市民緑地 (いこいの森)	3	0.47		
	生産緑地地区 ※2	124	31.30		
	第一種風致地区	0	0.00		
	河川区域 ※3	3	25.84		
	区民農園 ※4	8	1.42		
	区営苗圃	3	0.38		
	天然記念物の樹林、保護樹林 ※5	94	32.97		
③社会通念上安定した緑地	公共空地 (自転車歩行者専用道路、公共のグラウンド)	4	12.15	74.01	2.17
	社寺境内地 ※6	102	37.85		
	大学 ※7	5	18.78		
	病院 ※8	7	9.28		
④その他の緑地	民間グラウンド	4	8.10	258.94	7.60
	500㎡以上の樹林地	311	32.91		
	生産緑地、区民農園以外の農地	96	4.25		
	公共公益施設の緑化面積	589	195.05		
	500㎡以上の独立した駐車場	275	26.74		
緑地合計		1,985	570.29	570.29	16.74

※1 和田堀公園 (プール)、大宮の杜緑地と重複する部分は計上しない。

※2 都市計画公園区域に含まれる部分は計上しない。

※3 神田川自転車歩行者専用道路と重複する部分は計上しない。

※4 生産緑地と重複する部分は計上しない。

※5 特別緑地保全地区、市民緑地と重複する部分は計上しない。

※6 特別緑地保全地区、保護樹林と重複する部分は計上しない。

※7 保護樹林と重複する部分は計上しない。

※8 保護樹林と重複する部分は計上しない。

※表中の合計、割合等は、計算の元となる数値を小数点第3位以下も入れ計算していることから、表に記載されている数値による計算結果と異なる場合がある。

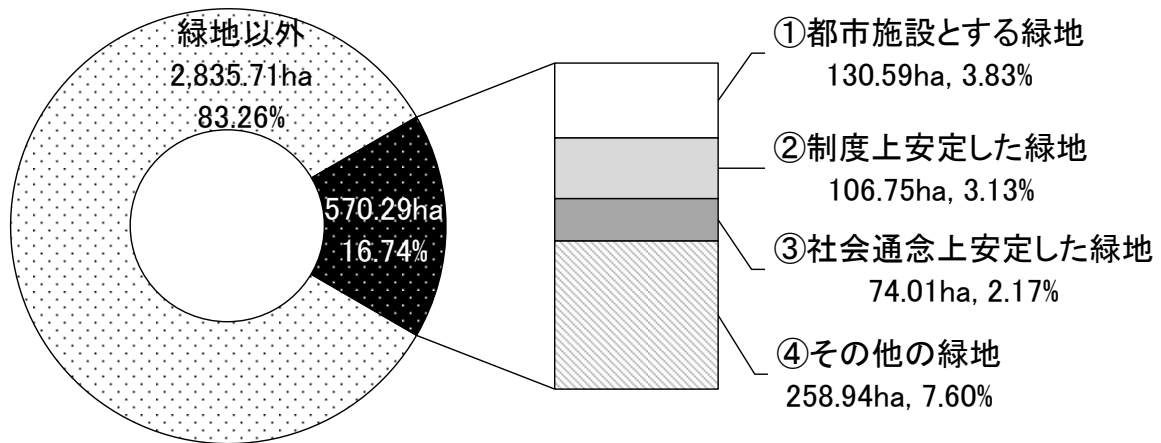


図 10-2 緑地の状況

10-3 地域別の緑地状況

地域別の緑地の状況を表 10-2、図 10-3 に示す。

地域別に分類した緑地率を見ると、最も高い地域は井草地域の 21.33%、次いで方南・和泉地域の 19.70%、高井戸地域の 18.87%であった。一方、最も低い地域は、荻窪地域の 12.95%であった。

全ての地域で「④その他の緑地」の占める割合が最も高くなっている。

また、①から③の合計緑地率を見ると、最も高い地域は方南・和泉地域が 11.75%、次いで高井戸地域が 10.28%、阿佐谷地域が 9.88%であった。一方、最も低い地域は、荻窪地域の 5.38%であった。

方南・和泉地域は、都立和田堀公園といった「①都市施設とする緑地」、神田川や善福寺川といった「②制度上安定した緑地」、明治大学や社寺境内地といった「③社会通念上安定した緑地」が高い緑地率に寄与している。

阿佐谷地域では、善福寺川沿いの公園・緑地によって「①都市施設とする緑地」の割合が高い。

高井戸地域、井草地域では、生産緑地や公共グラウンド等によって「②制度上安定した緑地」の割合が高い。

高円寺地域は、区立蚕糸の森公園といった「①都市施設とする緑地」のほか、社寺境内地、大学等の「③社会通念上安定した緑地」の割合が特に高い。

表 10-2 地域別の緑地の状況

地域	面積 (ha)	①都市施設 とする緑地 (ha)	②制度上 安定した 緑地 (ha)	③社会通念 上安定した 緑地 (ha)	①から③ の面積計 (ha)	①から③ の緑地率 (%)	④その他 の緑地 (ha)	面積計 (ha)	緑地率 (%)
井草	305.40	7.08	20.24	1.33	28.66	9.38	36.48	65.13	21.33
西荻	456.60	14.99	15.73	8.15	38.87	8.51	23.04	61.90	13.56
荻窪	542.60	9.38	14.86	4.97	29.22	5.38	41.05	70.27	12.95
阿佐谷	565.00	36.48	12.64	6.71	55.82	9.88	38.95	94.77	16.77
高円寺	403.10	11.65	5.38	18.41	35.44	8.79	25.58	61.02	15.14
高井戸	636.10	25.20	23.38	16.81	65.39	10.28	54.64	120.03	18.87
方南・和泉	493.20	25.81	14.52	17.63	57.97	11.75	39.21	97.18	19.70
区全体	3,406.00	130.59	106.75	74.01	311.35	9.14	258.94	570.29	16.74

※表中の合計、割合等は、計算の元となる数値を小数点第3位以下も入れ計算していることから、表に記載されている数値による計算結果と異なる場合がある。

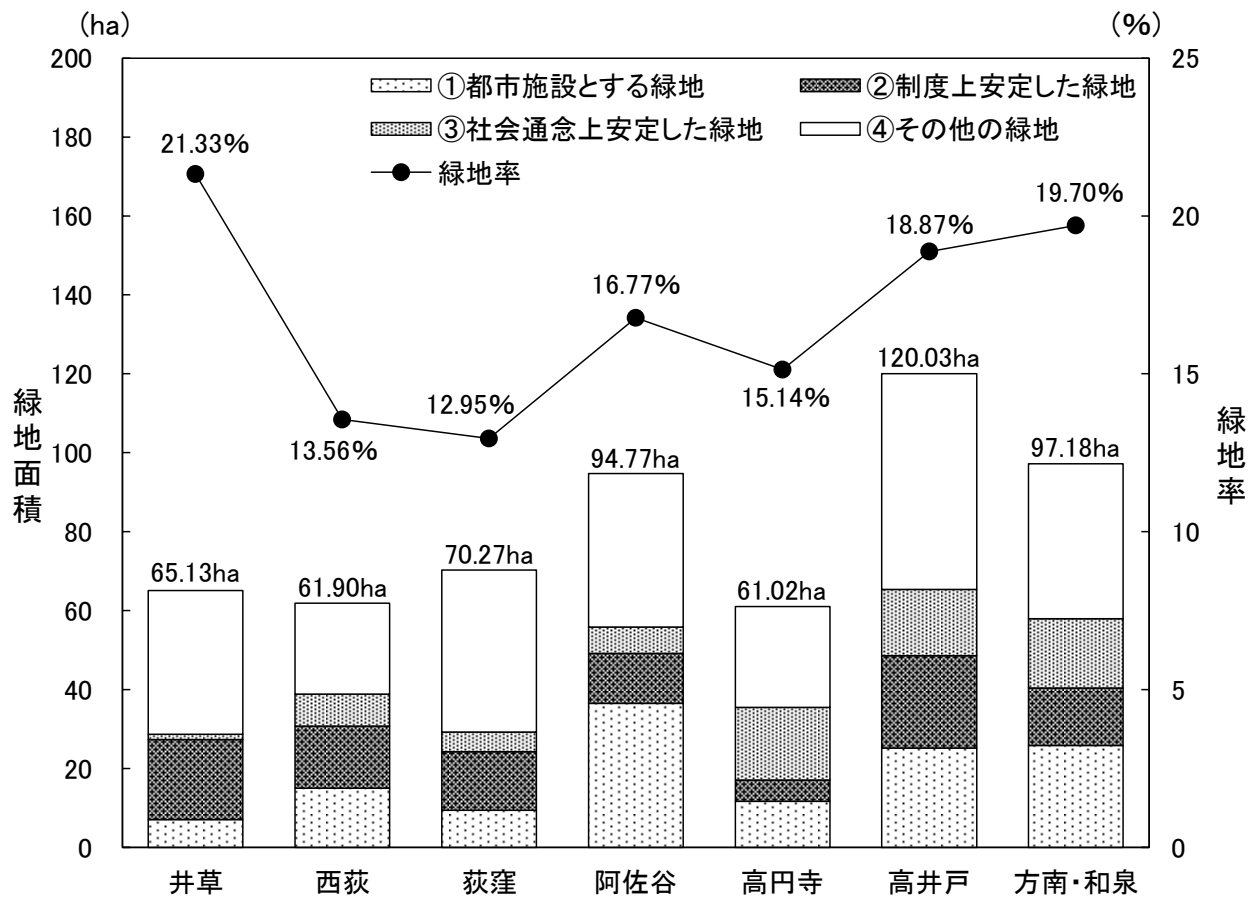
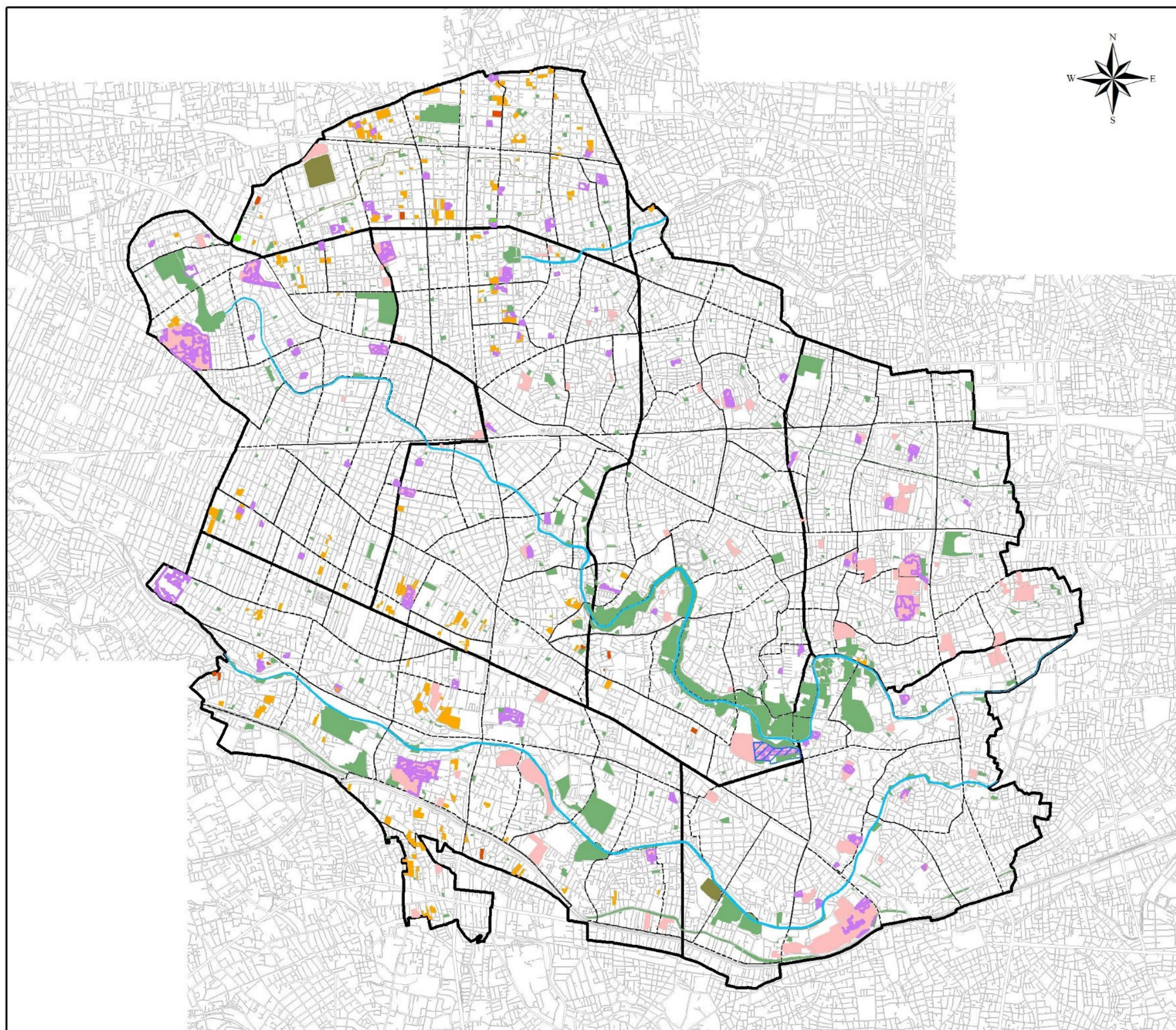


図 10-3 地域別の緑地の状況



地域区分図

凡例

- 公園緑地等の都市施設とする緑地
制度上安定した緑地
 - 特別緑地保全地区
 - 市民緑地（いこいの森）
 - 生産緑地地区
 - 河川区域
 - 区民農園・苗圃
 - 天然記念物樹林・保護樹林
 - 公共空地
 - 社会通念上安定した緑地
 - 地域界
 - 町丁目界
- 0 250 500 1,000 1,500 2,000
m

図 10-4 緑地分布図

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。(承認番号) 4 都市基交著第 85 号